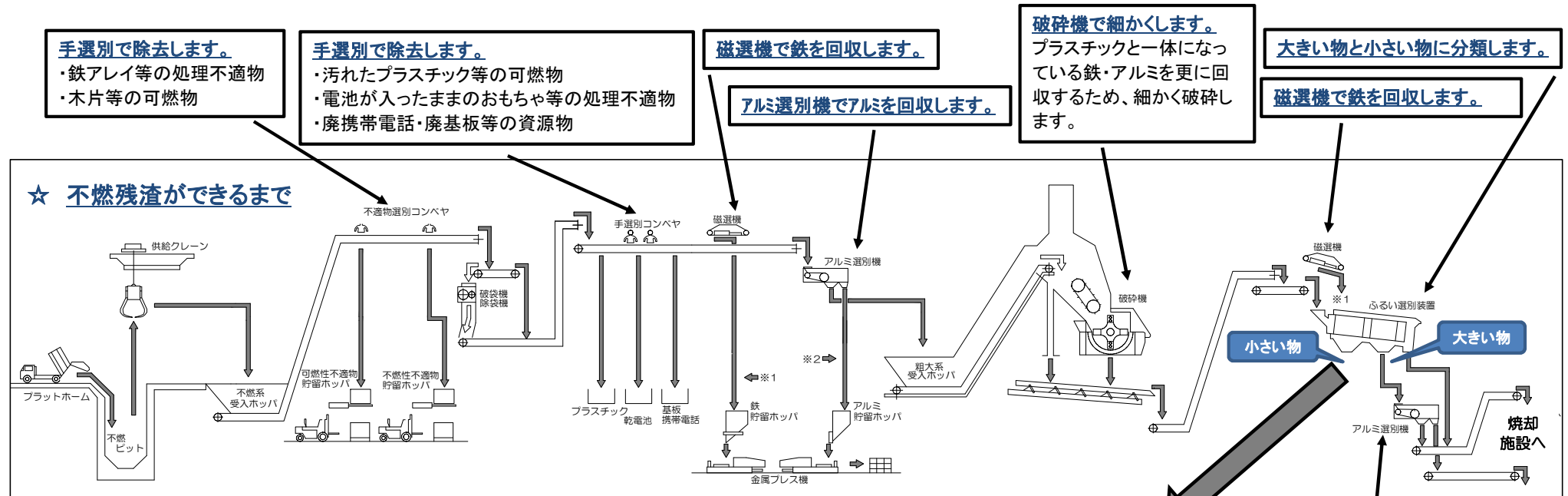


不燃残渣（埋立てごみ）の資源化

不燃残渣は、不燃ごみから「処理不適物」「可燃物」「資源物」を徹底的に回収・除去した後の残渣です。熱処理してエコセメントにします。

- 市民の皆さまのご協力で、不燃ごみは資源化され、19年度比で70%減少し約2,700トンとなりました。それに伴って不燃残渣も60%減少し約150トンとなりました。
- 不燃残渣に熱を加え、可燃物や金属を取除く事でエコセメントの材料になります。（不燃残渣は細かいため、焼却して可燃物を除去します。）
- 環境対策は十分に配慮し、継続的な測定を行っています。安全対策の詳細は、「住民説明会資料」をご覧ください。



不燃残渣を埋立処理から熱処理して資源化するメリット

- ◎ 多摩清掃工場に搬入されたごみを100%資源化できる。
- ◎ 可燃物の熱処理において発生した熱は、熱源や発電に利用できる。
- ◎ 熱処理後に残った金属類は、非磁性物除去装置でさらに回収できる。
- ◎ 熱処理後に残った不燃物は、エコセメントの原料として利用できる。
- ◎ 最終処分場の維持管理費を削減できる。

熱処理(可燃分焼却)

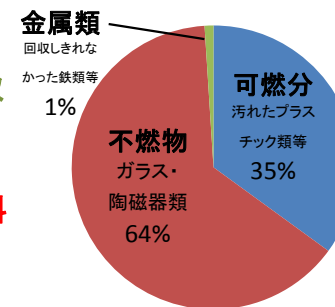


金属類回収

不燃物はエコセメントの原料となります。

100%資源化

不燃残渣



大きさ
2.5cm×2.5cm以下



⇒ 搬入された不燃ごみから約3%発生し、今まで埋立てをしていました。

⇒ 環境調査結果の詳細は、環境測定情報をご覧ください。 [こちら](#)

埋立て「ゼロ」へ